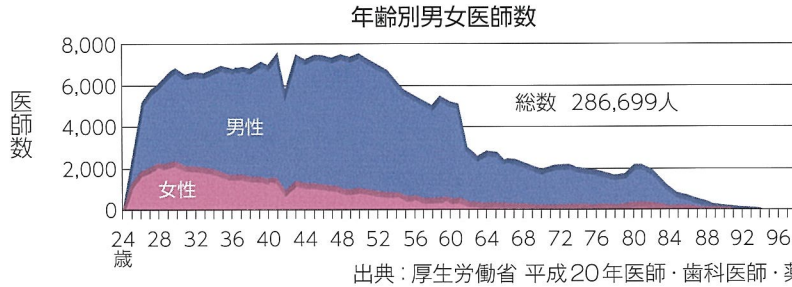


# STEP 3

## 現状を知り、使命感をもってキャリアを継続しましょう。

### ①：政府の対応

医師不足の声を受けて、政府は2007年5月に緊急医師確保対策を発表しました。その中で、出産や育児による医師等の離職を防止し、復職を促すため女性医師等の働きやすい職場環境の整備が必要とされています。2011年度予算にも「女性医師等の離職防止・復職支援」として国家予算が計上されています。

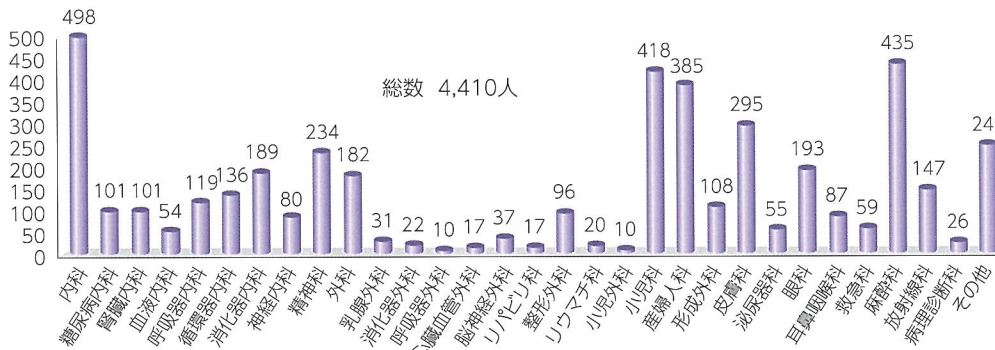


出典：厚生労働省 平成20年医師・歯科医師・薬剤師調査

医師になる女性は今増え、若手女性医師は急増しています。

### ②：みんないろいろな診療科を選択しています！

平成18年医師・歯科医師・薬剤師調査にて研修医と回答した女性医師が、平成20年医師・歯科医師・薬剤師調査にて回答した診療科（主なるものを抜粋。残りはその他を含む）



出典：厚生労働省 平成20年医師・歯科医師・薬剤師調査

若手女性医師が自分の適性を考え、様々な診療科への道を選択していることがわかります。

### —プロフェッショナルとして活躍しつづけるための7か条—

1. 周囲の支えで今のキャリアがある  
資格やキャリアは自身の努力ばかりでなく、家族や社会によって育成されたことを思い返してください。
2. 社会で役立ち始めてキャリアは意味を持つ  
仕事の継続は自身のためばかりでなく、社会へ向かって能力をきちんと生かすべき使命があることを自覚しましょう。
3. キャリア形成は長期ビジョンで  
一時的にペースダウンすることはあっても、長期的に自身のパフォーマンスを向上させようとする気持ちをもちましょう。
4. キャリアコースの選択肢は多く相談先も多く  
時にそこそこで良いと思うこともあります。1人で悩まないで、メンターや学会・医会の女性医師支援サイトを利用しましょう。
5. キャリア継続は社会の手もかりて  
数ある女性医師の就労支援策を知って上手に利用し、ワーク・ライフ・バランスを考えながら、キャリア・アップをしましょう。
6. キャリアデザインを意識して  
先輩方の体験や知恵がいっぱいこのリーフレットをぜひ活用ください。困ったとき、迷ったときには頼れる道しるべになります。
7. みなさん一人ひとりが新しいキャリアのロールモデルに  
自身が後に続く女性医師たちのロールモデルとなって、女性医師ばかりでなく、全ての医師が働きやすい未来を作っていくてください。

### 平成22年度厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）

#### 「女性医師離職防止のための勤務支援好事例の収集と検討」

研究代表者	安達 知子	母子愛育会愛育病院産婦人科 部長
研究協力者	中井 章人	日本大学多摩永山病院産婦人科副院長 教授
	木戸 道子	日本赤十字社医療センター第二産婦人科副部長
	奥田 美加	横浜市立大学附属市民総合医療センター総合周産期母子医療センター准教授
	安田あゆ子	東海北陸厚生局 臨床研修審査専門官
	山崎 亜子	愛育病院
アドバイザー	河野真理子	株式会社キャリアネットワーク 代表取締役会長